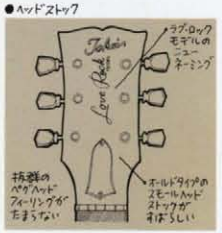
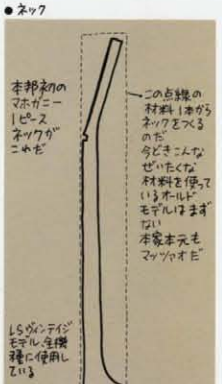
LS LOVE ROCK SERIES

パーフェクトなネック&ボディ構造は、もはやオリジナルを超えた……とささやかれはじめた。

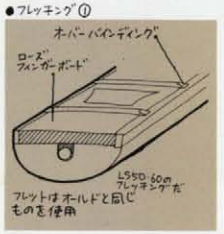
●ヘッドストック



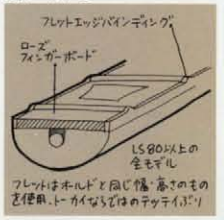
●ネック



●フレッキング①

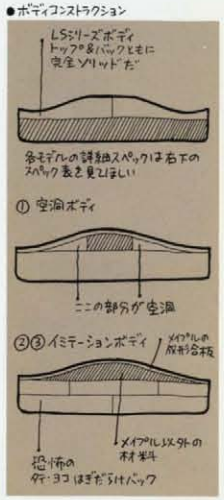


●フレッキング②



●ヘッドストック：まずは生まれ変わった顔がる。エレガントがつひきしまったオールドタイプのスモールヘッドストックに、"ラブ・ロック・モデル"のネーミングがひとときの印象的だ。こんな美しさは今どきどこをがしても見当らない。美しいフォルムのヘッドストックのトップにはメイプルの薄い板をはり合せたいわゆるメイプルツキ板仕様。オールドスタンダードの気品ある小さな風格と味わいを見事に再現している。あでたちみのあるラインがうれしいじゃないか。永遠のエヴァーグリーンと呼ぶにふさわしい"ラブ・ロック・モデル"の誕生だ。●ネック：今どきもうすっかりお なじみのマホガニー1ピースネック。日本で初めて採用したことは当然すばらしい。オールドモデルをレプリカするならこれは当り前の事だ。LSシリーズでは'58スモールモデルのLS80、100、ヴィンテイジモデルのLS120V、150V、200Vそれぞれ1005に、全て最高級マホガニー1ピースネックを採用。こんなぜいたくなレスポールモデルは他ではまずみられない。トーカイとオリジナルスタンダードでいただろ……。トーカイが誇る繊細なクラフトワークによるこのピースネックは音の伝達性はもちろん、ソリッドボディにおいての強度、フィーリングにおいても世界ランキングNo1だ。LS50、60のネックを見てはいない。オールドスタンダードのマテリアルを史実に再現した弾き易く長時間の演奏にもつかれないスーパーネック。その高度なプレイヤビリティを実感してほしい。●フィンガーボード：ここにも抜群の木工技術、クラフトマンの技が生きている。フィンガーボードには全機種ローズウッド採用、ポジションマーク・インレイ、そしてフレッキング等全てがレスポールモデルと同じ幅2.7%高さ0.9%。フィンガリング、チョーキングを全にスムーズにさせる。フレットのエッジングは①オーバーバインディング(LS50、60)②フレットエッジバインディング(LS80以上全機種採用)の2タイプ仕様。どちらも仕上げはすばらしく、フレットエッジバインディングのあがオールドどんずば？ギブソン的だ。ちなみにネック幅はナットのところで43%、12フレットのところで52.5%もともとも握りがすく設計されている。ハイクラスを話使するプロやクリストのニーズにもパーフェクトに応えるスーパーネック仕様だ。●ボディ：さて注目のエレガントかつビューティフルなアーチトップのボディにうつろう。トーカイLSシリーズはく'58スタンダードモデル>(ヴィンテイジモデル)ともオールドスタンダードのマテリアルを徹底的に分析・研究、開発したプロジェクトチーム自慢のボディだ。<'58スタンダードモデル>まずはボディのコンストラクションから。'58スタンダードのボディは、今やギタークリークのジョージキ ーメイプルトップとマホガニーバックのソリッドボディから構成されている。しかしレスポールスタンダードのコピーモデルの中には①空洞ボディ(中に空気が入っておりそれでOKいてみるとすぐわかる)や②メイプルとマホガニーの間に別の材料をはさんだミミテーションボディ。そして③マホガニーバックを単板ではなく恐怖の縦横ハギボタイプなどがあるが、大分注意してほしい。もちろんトーカイLSシリーズなにに配慮は無用だ。LS50(¥50,000)のモデルがすべてソリッドボディのけずりだした。特にLS60以上全機種には'58スタンダードのマテリアルと全く同じブックマッチングされたメイプル2ピーストップに、何と1ピースマホガニーバックという本物本元のオリジナルモデルさえマッツア オのゴージャスな仕様となっている。このスーパーボディが、高品質のレスポールスがよくいさな音量でもコシがあり音がグーンと伸びる事まるにあのレスポールサウンドが再現される訳だ。<ヴィンテイジ"モデル>ジミー・ペイジ、アルディメオラ、ヴァン・ヘイレン、スティーブ・ルカサー そしてイーグルスのドン・フェルダー、ジョー・ウォルシュをはじめとする世界のトップミュージシャンがこぞって使用しているトラモクスタンダードをパーフェクトにしプリカしたのがこのヴィンテイジモデル。世界でも希少なカーリーメイプルをおしげもなくトップに採用、鮮やかなタイガーストライプのクロスグレインはまさにトーカイLSヴィンテイジモデルならではのハイグレードな仕様だ。ヴィンテイジモデルはタイプ●メイプル/メイプル2ピーストップ にカーリーメイプルをラミネートしたLS120V。オリジナルのマテリアルそのままに完全ソリッドのカーリーメイプルをブックマッチングした2ピーストップ採用の LS150V、200Vの2世代のアーティストのセトカイ(何故かと言うとこう発言する)……。)のスタンダードモデル・イズ・グレイトと全機して注文がくる程のスゴイ人気を誇っている。しかしまだまだここでも注意してもらいたいことがある。トラモクのシモヨウ？が出るのは何もメイプルだけとは限らないんだ。(トラモク特集の夏参照)ただ単にトラモクっぽい材料はたくさんあるし、全くメイプルとは比較にならない薄い材料のトラトラを薄くして貼ったところで、弦振動をミュートしているだけにすぎない。トーカイ唯一のラミネイタイプのLS120Vもガンコに本メイプルにこだわり続けるメイプルのところにある。ヴァイオリンの製作の決め手は、音響特性にも優れたカーリーメイプルを使用してこそトラモクスタンダードの真のグレイトサウンドが生まれるのだ。トーカイはあくまでも本メイプルにこだわり正統派だ。また全てカーリーメイプルがギンギンに5ヴァンストライプが出ていると評価されているギターキッズがたくさんいるが、木は全て一本一本特性も違えば木目も違う。スティーブ・ルカサーのスタンダードモデルのようにめん杼トラモクが出ていなくても素晴しいサウンドが出るのもうめい。音響はサウンドが勝負だ。ギターもサウンドで決めて欲しい。<スペシャルモデルLS100S>今回LSシリーズの中に新たに登場したスペシャルモデルがLS100S。これは'57年から'58年にかけてわずかに製作された希少なモデルで"トップ&バックがそれぞれマホガニー1ピースが構成されているいわゆるマホガニースタンダードと呼ばれるものだ。メイプルでは味わえない粘りギシギシのサスティーンとブルージーなライトサウンドが特徴だ。ブルースロック、サザンロックそしてハードロックにとその魅力を発揮することまちがいなしの最強メイプルトップスタンダード"とのサウンドキャラクターをとくべつ<記しい。●アーチドトップ：さてボディ説明の最後はエレクトリックギターの完成度、魅力を一気に増したアーチドトップについて。オールドスタンダードまたはトーカイLSシリーズのアーチドトップを見てイヤが気づいたことはないかな？そう皇はアーチドトップでありながらピックアップのマウント部分からブリッジ、テールピースのあわりまでフラットになっている。これはトーカイがLSシリーズ"を777年に発表した以来 秘)重項となっていた項目だ。気づいていた人も多かいと思うが"光の反射かげんで"アーチドトップの美しいフォルムが出たり消えたりするのもこのせいだったというわけだ。オリジナルをここまで完璧にプリカしたモデルはまさにトーカイだけ。見かける方法は簡単、マウンティングリング(エスカッション)を注目、極端なアーチはつかず フラットになっていることなどすぐわかるはずだ。●カラー：ヴィンテイジモデルにはヴァイオリンフィニッシュ(VF)オールドチェリーサンバースト(OS)そしてチェリーサンバースト(CS)。'58スタンダードモデルにはゴールドトップ(GT)をきのCS、OS、ブラウンサンバースト(BS)ブラック(BB)の計5カラー。スペシャルモデルのLS100Sにはオールドリネユラル(ON)オールドレッド(OR)ゴールドトップ(GT)の3カラーがそれぞれ用意されている。キミのセンスと好みでセレクトしてほしい。

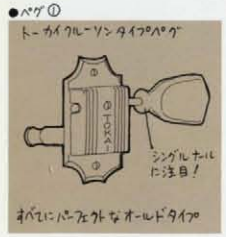
●ボディコンストラクション



●アーチドトップ

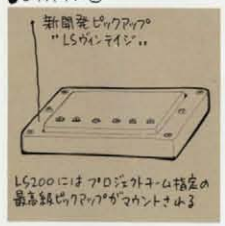
●ボディ(LSヴィンテイジモデル)

●ペグ①

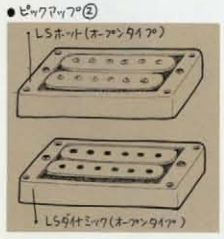


●ペグ②

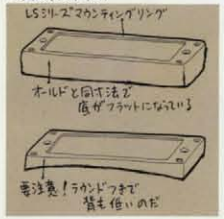
●ピックアップ①



●ピックアップ②



●マウンティングリング



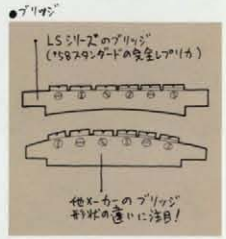
先進のテクノロジーと円熟の感性がいきづく驚異のハードウェア、トーカイのみが成し得る徹底した内容。

●ペグ：ついにシングルナイール(1コア)ペグの登場だ。2コアでもいいがオールドモデルにはやはり1コアがグッドフィーリングだ。精度は抜群。プロギタリストやギターキッズの間ではばしるモノホンよりもgood！との評判でうれしい限り。クルーソンペグを徹底研究、さらにグレードアップした成果が、2本ネジでガタツキもなく高精度のペグを完成させている。プロジェクトチーム血と汗と涙の結晶のひとつなのだ。樹脂製ツマミにも細心の注意がはらわれオールドの何ともいえない深い色が出ている。これがLSシリーズ"とタッグを組んだときに最高のペグヘッドフィーリングが味わえる。しかしなといっても他の名ばかりのクルーソンタイプと違うのはオリジナルと同じブッシュタイプを採用したところにある。これはもちろん決定的だ。一見ロマンティック風に見えるクルーソンタイプのペグも最近よく見かけるがこれらは表面にナットがつきストリングポストを高くしている。よって弦のテンション(張力)も弱くなり音も微妙な変化をみせ、あのオールドレスポール特有の音が楽しめないわけだ。オールドフィーリングと微妙なサウンドの違いがわかるギターキッズならうっかり見逃すことなど泣かないようにもちろんブッシュタイプのオリジナルスタンダードとトーカイLSシリーズ"だけだ。●ピックアップ：さて今まで説明してきたとうり、究極なハードウェアがあがらこそピックアップもいきてくる。そしてLSシリーズのパーフェクションボディがピックアップの特性のままに本領を発揮、100%のカをひきだしてくれるよいじわげんなボディにどんなに優れたピックアップをマウントしても究極なサウンドは得られない。LSシリーズは実に6種類ものピックアップが用意され各モデルごとの音をいかんなく発揮、ダウトの廃性をひきだしているのでは新開発のピックアップを含め簡単にその魅力をさぐってみよう。(LS・ヴィンテイジ")'58スタンダードに使用されていたものと全く同じコイルマテリアル。つまり'58年にはじめて世に出たPAF/ハムバッカーをマッドコピーとしている訳だ。その音色といい、コシの強さといい、お見合らといい。もう言葉はいらない。オールディーなサウンドを100%発揮できる新開発 秘)PUだ。LS80に採用されているLS150V、200Vのピックアップをおさおさつつけがたる位、人気の高いPUだ。ひとつとするとダンガンの'59PAFヴィンテイジに追るかもう！<LSホット>LSホットは国産モデルでは最高級にランクされているPU。オープンタイプでクリームボビンが印象的だ。アジャスタブルポールピースがダブルコイル両方にセットされ㈠ドライバーで自在に音量が好みに合わせて調整できるホットなPUだ。ホットなディストーションサウンドがらメローなサウンドまで使いこなすのもセミのウデしだい。ホットなパワーを秘めてLS60にマウントく<LSダイナミック>リアのレイメントPUの圧縮、ディマジオに優るとも劣らないPU。それがLSダイナミックだ。強烈なサウンドをハイコストパフォーマンスで実現したまさにダイナマイトロッカーの代表PU。クリームボビンに個性あふれる角アジャスタブルポールピースを採用。<ヨルクラスエイジ待望のスーパーPU、LS50にマウントして衝撃のデビュー。<ディマジオ・PAF>リアレイメントPUの代名詞、そしてPUの生着ディマジオ。このハイクオリティかつオリジナルPAFのレプリカとも言えるPUをトーカイではLS100、LS100S、LS120V、そしてLS150V(フロント)に採用。そのサウンドは究極なハードウェアと相まってグレイトなサウンドを生まずだ。なおオプションとしてピックアップカバーが用意されヴィンテイジアンは注目のほどを。<ディマジオ・スーパーディストーション>圧倒的なパワーとインパクトのあるサウンドが武器のスーパーディストーション。LS150V(リア)とのコンビネーションがPUの表現力を最大限にひき出してくれる。君のセンスでこの強烈な個性のピックアップを縦横無尽にドライブしてほしい。<LS200V用プロジェクトチーム指定・最高級ピックアップ>78!年ニュースペックよりLS200Vにマウントされるピックアップはプロジェクトチーム指定の最高級ピックアップ。LS200Vのハードウェアを最大限にひき出すピックアップがマウントされる。時代とともにグルい続けるサウンドのニーズに応じたピックアップをプロジェクトチームで決定。ホットなサウンドを提供する。海外のピックアップの特性をたえず研究しているトーカイならではの企画だ。LS200Vをオーダーする楽しみがまた1つふえた。乞うご期待。●マウンティングリング：これは俗にいうエスカッションとトーカイではあえてマウンティングリングと呼ぶ。名称はガリでなくその形状も注目してほしい。アーチドトップにもかかわらずマウンティングリングの底辺はフラットになっている。先ほど説明すみずみ。オールドスタンダードのパーフェクトレプリカの魅力がここにも生きている。特にリアピックアップのあつも現在のレスポールよりも大部高い。オールドと全く同じ寸法のマウンティングリングはピックアップをカットタイプに改造した時も、コイルをハードプレイによってキズつける事なく空隙に保護してくれるわけだ。<LSシリーズ"は全機種にこのマウンティングリング"を採用している。●ソーサーノブ&スイッチノブ：細部のパーツに至るまで究極に再現しているのもまたLSシリーズ"の魅力だ。それも全てオールドと同じマテリアルでつくられているところがうれしい。ゴールドのトップハット型いわゆるソーサーノブは大型ディで確実なアクションを約束する。そしてスイッチノブに至っては極細かけだ。オールドノブを徹底分析しオリジナルと同じ極秘素材を採用の長い年月を一挙にタイムトリップさせたオールドカラーのノブを基本に完成させた。本邦初着場であることはいうまでもなく、深みのあるグッドフィーリングノブはトーカイならでは。現代の高機とは思えふさわしい。●ブリッジ&テールピース：スペシャルスペックのパーツはまだまだ続く。ブリッジ&テールピースも究極レプリカ、ブリッジの材質は真鍮わり、テールピースはアルミダイカスト製だ。形状も'58年タイプで"現在のレスポールと少しちがうのよ。センターのふくらみがバランス的に位置していりかも注意して見てもらいたい。実に小さなことだが、ここまで徹底することで究極度をひきあげている。●その他：よく底をつけてみると、実に味わい深いオールドカラーフィニッシュをはじめ、ストラップボタン、ピックガード そしてビスの形状まで実にトライバイヨナルギブソン的。LSシリーズはオールドスタンダードのフィーリングをジャストに伝え、99このギタリストにショックを与えてつけている。Quality before Quantityの理りシーにささえられたトーカイエレクトリックギターを代表するLSシリーズ"ご注意しいサウンドシーンをリードするにふさわしい。実現オールド感覚、キミにも……。

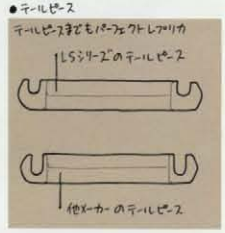
●ソーサーノブ

●スイッチノブ

●ブリッジ



●テールピース



●ケース